

**子どもたちを  
健やかに育む宣言**



子どもは海老名の次代を担う宝です。子どもたちの生きる力や、豊かな人間性を育み、学力の向上を図るために、学校、家庭、地域社会の協働による学校づくりを進めます。

より安全な教育環境づくりを目指す学校に与えられる国際認証「WHOインターナショナルセーフスクール」の認証取得を目指すほか、外国語教育の推進や、災害時には避難所となる小中学校の体育館へのエアコン設置なども実施します。

また、安心して子どもを生み、育てられる環境の整備をさらに推進する施策として、公立保育園の増築などを行い、待機児童対策にも取り組んでいきます。

**支えあう地域福祉の充実で  
生涯元氣宣言**

誰もが、心身ともに健康で自立した生活を生涯送ることを望んでいます。行政は、保健、医療、福祉に関わるサービスの充実および制度化によって、その期待に応えていかなければならないと考えています。

健康づくりの拠点となる健康増進棟の新設、各種の検診による予防医療の充実、特別養護老人ホームの増設、障がい者の自立化の促進などにも取り組んでいきます。



**心ふれあう  
スポーツ・文化の充実宣言**



「市民活動交流棟イメージ図」

心の充実感、生活の質を求める時代にあって、スポーツ・文化活動など生涯学習活動の重要性は増えています。体を動かす楽しさや喜びなどを、誰もが享受できるように、施設だけでなく、ソフト面の

**心ふれあう  
スポーツ・文化の充実宣言**

されていくところから、「創エネルギー」「省エネルギー」による施策を実施していきます。

また、資源循環型社会の構築に向け、ごみの減量化、資源ごみの再利用について、対策強化を進めます。そのため、環境意識の向上に向けた啓発事業などにも努めていきます。

なお、身近な環境問題となつてくる空き地対策として「空き地の適正管理に関する条例」の制定を目指します。

**海老名の特性を生かした  
快適な都市空間づくり宣言**

海老名インターチェンジの開通とそのアクセス道路の整備、小田急小田原線の立体化や海老名駅駅舎部自由通路の完成などにより、市の交通利便性は一段と向上しています。

今後も駅舎部自由通路の西口への延伸、羽田空港へのリムジンバスの運行、社家駅・厚木駅周辺の整備などにより利便性を一層高める一方で、交通渋滞の緩和、交通弱者に配慮したバリアフリー化、歩行者空間づくりなどを進め、

充実を図っていきます。

また、市内の貴重な文化財の活用を進めるとともに、市民が芸術や文化にふれる機会、心のやすらぎ・充実・豊かさ・高揚を実感できる機会をつくります。

今後、海老名市スポーツ健康推進計画の策定を進めるとともに、スポーツ施設の整備とネットワーク化、歴史的文化財などをつなぐ回遊路の整備などに努めていきます。



「えびな新能」

快適な都市空間づくりを目指します。



**健全財政を維持し、  
持続可能な都市経営宣言**

これからの世代に負担の増大を生じさせないよう、健全財政を維持します。そのため、行財政改革を継続し、併せて一層の経費削減に取り組めます。

広域行政化による行政サービスの効率化、窓口のワンストップサービス体制の確立、既存事業の統廃合、事務事業のスクラップアンドビルドの徹底などに努めます。

**海老名に住み！  
海老名で働く！宣言**

海老名は、農業を中心に商業、工業などが後に進出し、自然と都市がバランスよく発展しています。海老名がこれからも元気であるためには、産業が元気でなくてはなりません。積極的に優良企業を誘致し、市民の雇用の場を作り出すとともに、地域商店街の活性化を地域コミュニティの推進と一



**自然とまちが共存する  
環境都市宣言**

地球環境の改善に向けて、対策に取り組んでいきます。

原子力発電依存のリスクが危惧

